

第5学年 国語科学習指導案

日 時 平成20年 10月10日 (金)
児 童 男子 5名 女子 9名 計14名
授業者 小 形 展 弘

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 「わらぐつの中の神様」

2 子どもの実態

子どもたちは「読むこと」の学習として、4年生「3つのお願い」で、叙述を押さえて情景や登場人物の気持ちを想像しながら読み取り、場面や登場人物の様子が表れるように音読することを、「白いぼうし」では登場人物の会話や行動、場面の情景描写に気をつけて豊かに想像しながら読み取り、ファンタジーの世界を味わうことを学習してきた。これらの系統を踏まえた学習により、子どもたちは、場面の情景や登場人物の気持ちについて叙述を基に考えながら音読を工夫したり、大事な言葉を見つけ、自分の考えをもちながら読んだりすることができるようになってきている。

日常生活においては、朝読書や暗唱を意欲的に行っている。4月からこれまで7つの詩や名文を暗唱した。また、家庭学習の音読でも毎日のめあてをしっかりと組み組んでいる。

これらの学習や活動を通して子どもたちは、叙述に即して内容を正確に読み取ったり、自分なりの考えをもちながら読みを深めたりすることができるようになってきている。

3 単元について

本単元「人物の考え方や生き方をとらえよう」は、登場人物の人柄や心情の変化を叙述と関係付けてとらえ、人物の生き方・考え方について自分なりの考えをもつことをねらいとしている。

本教材「わらぐつの中の神様」は、三つのまとまりで構成されている。「わらぐつなんてみったぐない。」という孫に、雪げたをいつか買うために不格好だが使う人の身になって心を込めてわらぐつを作ったおみつさんの話をするおばあちゃん。

実は、おばあちゃんはおみつさんであり、わらぐつをいつも買ってくれたのはおじいちゃんだったということに気付く。「心を込めて作ったものには、神様が入っている。」という、見た目ではなく相手のことを考えて心を込めることの大切さを伝えている雪国の心温まる物語である。現在 - 過去 - 現在という巧みな構成や印象的な台詞、「わらぐつ」や「雪げた」などの効果、また、謎解きのような表現の技法など、優れた叙述や表現を鑑賞しながら読むことができる教材である。

また、おみつさんと大工さんの心の通い合いやおばあちゃんとマサエの心の通い合いなどに子どもたちは共感しながら読み進めていくと思われる。

さらに、登場人物の考え方や生き方から、心の純粋さや正直さ、思いやりなどは尊いものであるという普遍的な価値にも気付き、自分の考え方や生き方にも生かしていくことができると思われる。

このように、本教材は、単元のねらいにせまるための適材であると考えられる。

4 指導にあたって

本単元では、教材文を読み通し、行動描写・会話などから人物像を読み取る方法を知って読み、人物の考え方・生き方に自分なりの感想をもつことを中心に学習活動を行う。

第1次では、全文を通読し、学習の見通しをもたせたい。そのために、題名から書かれている事柄を想像させたい。初発の感想を発表させたり、場面を追って、登場人物の人柄や心情、場面の情景を読む学習計画を立てさせたりしたい（レベル1）。

第2次では、「おみつさん」の人柄や心情、「大工さん」の人柄の読み取りを中心に学習を進めていく。この学習をおし、正確に読み取りを行うとともに、読み取った事を学級内で発表し合える雰囲気や大切にし、学習活動を進めていきたい。そして、人物の人柄や考え方が表れている言葉、心に残ったことを交流する学習では、登場人物の人柄や考え方に対して叙述を間接的な経験としてとらえ自分なりの感想をしっかりともち、発表できることを大切にして学習活動を進めていきたい（レベル2）。

第3次では、方言と共通語の特徴を理解させる。「わらぐつの中の神様」の中で使われている方言の効果について考えさせ、方言のよさ、役割を理解させたい。

5 学習指導目標

(1) 関心・意欲・態度

◎行動描写・会話などから場面ごとの人物の関係や心の動きを読み取り、人物の考え方や生き方について自分なりの感想をもととする。

(2) 能力

◎登場人物の人柄や心情、場面の情景などを叙述に即して読むことができる。 【読むこと ウ】

(3) 言語についての知識・理解・技能

○読み手を引きつけるための物語の展開の工夫（現在 - 過去 - 現在）に気づくことができる。

【言語 オ（ア）】

○方言と共通語の違いを理解することができる。

【言語 カ（イ）】

6 単元重点指導計画 （8時間）

過程	時	指導目標	評価規準		
			関心・意欲・態度	中心となる能力	言語事項
第1次 レベル1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教材文を読み、単元の見通しをもたせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> 全文を通読し、学習の計画を立てる。 感想を発表し、場面を追って登場人物の人柄や心情、場面の情景を読む学習計画を立てる。 段落を分ける。 ※範読、リレー読み	・興味をもって教材文を読み、感想を書いたり話したりしている。 （発言・ノート）	・「わらぐつの中の神様」を読み、内容をだいたいつかんでいる。 （音読・発言・ノート）	・新出漢字の書き順や正しい用法に気をつけている。 ・雪国の文化や風土である「わらぐつ」「雪げた」「朝市」などの言葉を理解している。 （発言・ノート）
	2				
第2次 レベル1	3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">登場人物の人柄や考え方、雪国でのくらしの背景を読み取らせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> マサエのくらしの背景と人柄、考え方を読み取る。 ※自由読み、指名読み、役割読み	・行動描写・会話などから場面ごとの人物の関係や心の動きなどの表現の効果を感じ取り、物語を読み味わおうとしている。 （発言・ノート）	・マサエやおばあちゃんの雪国でのくらしの背景と人柄や考え方を、わらぐつに対する思いなどから読み取っている。 （発言・ノート）	・人物の行動描写や心情表現に使われている語句の効果を理解している。 （発言・ノート）
	4				
レベル2		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おみつさんの人柄や考え方を読み取らせる。</div> <ul style="list-style-type: none"> 物語の展開を時間の流れに沿ってとらえる。 雪げたとの出会い、わらぐつを編む様子をとおし、おみつさんの人柄や考え方を読み取る。 ※自由読み、指名読み、役割読み		・おみつさんの人柄や考え方を読み取っている。 （音読・発言・ノート）	

	5	<p>「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄について読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大工さんとおみつさんの人柄や考え方に共通するところを読み取る。 <p>※自由読み、指名読み、役割読み</p>		<ul style="list-style-type: none"> おみつさんと大工さんの人柄をもとに、二人の考え方の重なり合いについて読み取っている。 <p>(音読・発言・ノート)</p>	
	6	<p>マサエの感動と変容を読み取らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの話が、おばあちゃんとおじいちゃんの実話だと気付いた後のマサエの変容について読み取る。 <p>※自由読み、グループ読み、ペア読み</p>	<ul style="list-style-type: none"> おばあちゃんとおじいちゃんだと気付いた後のマサエの変容について、読み取るうとしている。 <p>(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> おみつさんと大工さんが、おばあちゃんとおじいちゃんだと気付いた後のマサエの変容について、昔話を聞く前のマサエと比べながら、読み取っている。 <p>(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人物の行動描写や心情表現に使われている語句の効果を理解している。 <p>(発言・ノート)</p>
	7	<p>読み取ったことをまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在一過去一現在という構成について話し合う。 人物の人柄や考え方が表れている言葉、場面の様子が表れている叙述から心に残ったことを交流する。 <p>※一斉読み、グループ読み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の選んだ観点で、読み取った事をまとめようとしている。 <p>(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「大工さん」の人柄や「おみつさん」の心情の変化を叙述に即して読み取っている。 <p>(発言・ノート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読み手を引きつけるための物語の展開の工夫(現在 - 過去 - 現在)に気づいている。 <p>(発言・ノート)</p>
第3次レベル1	8	<p>方言と共通語の特徴を理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文を読み、方言と共通語のそれぞれのよさと役割を話し合う。 			<p>方言のよさ、役割を理解している。</p> <p>(発言・ノート)</p>

7 本時の指導

(1) 目標

(関心・意欲・態度)

◎行動描写・会話などから場面の人物の関係や心の動きを読み取り、物語を読み味わおうとしている。

(能力)

◎「大工さん」の人柄や「おみつさん」の心情の変化を叙述に即して読むことができる。

(言語についての知識・理解・技能)

○文章を繰り返して読むことで、「おみつさん」の心情や「大工さん」の人柄の素晴らしさに気づくことができる。

(2) 指導にあたって

本時は、「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄について読み取らせたい。この読み取りを行うことで、「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いについて、児童が気付き、自分なりの考えをもてるようにさせたい。

そのために最初に、自由読みを行い、話の流れに気をつけながら不安な気もちの「おみつさん」

と「大工さん」の人柄について表れている一文に着目させる。

次に、不安な気持ちな「おみつさん」や「大工さん」の人柄が読み取れる所にサイドラインを引かせ、サイドラインを引いた箇所の指名読みを行う。その際に、聞き手になっている児童は、その一文、読み方から伝わってくる「おみつさん」の心情や「大工さん」の人柄を考え、発表する。

叙述に即して、「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いについて読み取りを進め、本時に対する理解を深めさせたい。

これらの学習活動を通し、心情や人柄を読み取ることの楽しさ「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いの素晴らしさを子どもたちに感じさせられるように指導にあたりたい。

(3) 本時における音読活動のねらい

- 考える ・自由読み→不安な気持ちの「おみつさん」と「大工さん」の人柄をつかませる。
- 深める ・役割読み→読み取った「おみつさん」の心情や「大工さん」の人柄を伝える。
- まとめる ・役割読み→「おみつさん」の心情や「大工さん」の人柄を読み取り、読み取ったことを深める。

(4) 展開

段階	学 習 活 動 ○主発問 ・期待される児童の反応 ※音読	・支援 ●評価 【評価方法】
つかむ 3分	1 前時の想起 (1) 前時に学習した「おみつさん」の人柄について確認する。 2 課題把握 「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いについて読み取ろう。	・教室内掲示を参考にさせる。
考える 7分	3 課題解決 (1) 読みの視点を確かめ、本時の学習場面を音読する。 ※自由読み (2) 「不安でいっぱいのおみつさん」、「大工さんの人柄」が表れた一文について、読み取れる箇所にサイドラインを引く。 (サイドラインは1箇所ずつに引かせる。)	・「不安でいっぱいのおみつさん」と「大工さんの人柄」が表れた一文について読み取れることを板書で確認させる。
深める 25分	(3) サイドラインを引いた箇所の発表と役割読みを行い、読み取った「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄について確認し、理解を深める。 ※役割読み (4) 心の通い合いについて確認し、理解を深める。 ○大工さんの言葉を聞き、「おみつさん」は、どのように感じましたか。 ・自分といくらか年のちがわないこの大工さんが、なんだかとてもたのしくて、えらい人のような気がしてきた。 ○「おみつさん」に対する「大工さん」の気持ちが表れた所を答えましょう。 ・「なあ、おれのうちへ、来てくんないか。そして、いつまでもうちにいて、おれにわらぐつを作ってくんないか。」	・役割読みを聞いている児童は、読まれている箇所にサイドラインを引き、その部分からどの程度、心情や人柄が読み取れたかを◎○△で評価するようにさせる。 ・心情や人柄の読み取りに対して発言がみられないときは、◎評価をしている子に、その一文をもう一度、読ませる。 ●「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄について確かに読み取っている。 ↓ 【サイドライン・発言】 ・会話文や教室内掲示を参考にさせる。 ●文章を繰り返して読んだり、聞いたりすることで、「おみつさん」の心情や「大工さん」の人柄の素晴らしさに気づくことができる。 ↓ 【発表】

	<p>○大工さんの言葉を聞いた後に、「おみつさん」はどのようにになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白いほおが夕焼けのように赤くなりました。 <p>○「おみつさん」と「大工さん」がこのような心の通い合いをできたのは、なぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外見にとらわれず、使う人の身になって心を込めて物を作るのに共感し合えたから。 ・尊敬し合えたから。 ・お互いのよさをわかり合えたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内掲示を参考にさせる。 ・(4)については、一つひとつの問いの後に、「おみつさん」の心情についても考えるようにさせる。 ・前時に学習した「おみつさんの人柄」と本時で学習した「大工さんの人柄」を踏まえ、心の通い合いについて考えさせる。
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>4 学習のまとめ</p> <p>(1) 課題へのまとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>具体的評価規準【発言・ノート】</p> <p>A: 「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄をとらえている。また、「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いについて、自分なりの感想をもつことができる。</p> <p>B: 「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄をとらえている。</p> <p>Cへの支援: 会話文に着目させ「おみつさん」の心情と「大工さん」の人柄を読み取れるように促す。</p> </div> <p>(2) まとめの音読をする。 ※役割読み</p> <p>5 本時を振り返る。</p> <p>6 次時の学習予定を知る。</p>	<p>(2) 地の文、「おみつさん」、「大工さん」の3つに分け、役割読みを行い、学習のまとめとする。(地の文は教師が読む。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価する

「わらぐつの中の神様」

「おみつさん」と「大工さん」の心の通い合いについて読み取ろう。

不安でいっぱいのおみつさん

・おらの作ったわらぐつ、もしかしたら、すぐいたんだりして、それで、しょっちゅう買ってくんなんじゃないんですか。

^「大工さん」の人柄▽

・おれは、わらぐつをこさえたことはないけども、おれだって職人だから、仕事のよしあしは分かるつもりだ。い仕事つてのは、見かけで決まるもんじゃない。使う人の身になって、使いやすく、じょうぶで長もちするように作るのが、ほんとのいい仕事つてもんだ。おれなんか、まだわかぞうだけど、今にきつと、そんな仕事のできる、いい大工になりたいと思ってるんだ。

・こつくりこつくりうなずきながら

・自分といくらも年のちがわなこの大工さんが、なんだかとてもたのもしくて、えらい人のような気がしてきた。

^「大工さん」のおみつさんに対する気持ち▽

なあ、おれのうちへ、来てくんないか。そして、いつまでもうちにおいて、おれにわらぐつを作ってくんないか。

・ぼかんとして、大工さんの顔を見ました。
・白いほおが夕焼けのように赤くなりました。

「おみつさん」の心情

・これじゃあ、だれも買ってはくれない。

・買ってくれるかな。

・ありがとう若い大工さん。

・神様みたいだ。

・今度のわらぐつは、前より上手にできたかな。

・また、あの人が買ってくれた。

・どうしてだろう。

「大工さん」の人柄

・男らしい。

・まさに職人。

・仕事のよしあしが分かっている。

・仕事に對しまじめ、一生懸命。

「おみつさん」の心情

・はずかしい

・うれしい

・わたしも大工さんと一緒にになりたい。